

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.4.8	2022.4.8	
採取時刻			10:37	10:12	
全水深(m)			2.20	1.75	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(+)	(5)
2			OSCILLATORIALES		(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	85	320
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
5			Peridinium spp.	5	+
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		+
7		珪藻	Asterionella formosa	41	56
8			Aulacoseira ambigua	30	50
9			Aulacoseira pusilla	60	165
10			Fragilaria spp.	+	5
11			Melosira varians	+	+
12			Nitzschia acicularis	30	60
13			Nitzschia fruticosa	40	+
14			Nitzschia spp.	5	5
15			Skeletonema potamos	1675	8300
16			Surirella spp.	3	
17			Ulnaria japonica	1400	850
18			Ulnaria sp.		+
19			Thalassiosiraceae-5	1600	2300
20			Thalassiosiraceae-10	3850	11850
21			Thalassiosiraceae-25	+	
22			BACILLARIOPHYCEAE		5
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	20	40
25			Chlorogonium spp.	5	50
26			Chodatella quadriseta	5	
27			Dictyosphaerium spp.	120	100
28			Micractinium spp.	80	110
29			Monoraphidium spp.	50	45
30			Scenedesmus acuminatus	+	
31			Scenedesmus spp.	60	100
32			Schroederia sp.	+	
33			Tetraedron sp.	+	
34			Tetrastrum elegans	+	
35			Tetrastrum sp.		5
36			CHLOROPHYCEAE	115	140
37	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
38		多膜口	Tintinnidium sp.		+
39			POLYHYMENOPHORA	10	10
40		-	CILIOPHORA	15	10
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	150
43			鞭毛藻	100	175
44			鞭毛虫	20	100

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.4.8	2022.4.8
総数		9424	25006
種類組成	藍藻	0	5
	クリプト藻	85	320
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	8734	23646
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	455	590
	その他の植物性動物性	100	325
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022. 4. 21	2022. 4. 21
採取時刻			13:49	13:21
全水深 (m)			2.28	1.85
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece sp.	(5)
2			Merismopedia sp.	(5)
3			Pseudanabaena spp.	(15)
4			CHROOCOCCALES	(10)
5			OSCILLATORIALES	(10)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	90
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10
9			黄緑藻	XANTHOPHYCEAE
10		珪藻	Asterionella formosa	+
11			Aulacoseira ambigua	+
12			Aulacoseira pusilla	+
13			Aulacoseira granulata	
14			Fragilaria sp.	
15			Melosira varians	6
16			Nitzschia acicularis	25
17			Nitzschia fruticosa	200
18			Nitzschia spp.	20
19			Skeletonema potamos	11450
20			Ulnaria japonica	110
21			Thalassiosiraceae-5	3550
22	Thalassiosiraceae-10	2700		
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	60
24			Chlorogonium spp.	+
25			Chodatella quadriseta	5
26			Coelastrum spp.	+
27			Dictyosphaerium spp.	60
28			Golenkinia spp.	10
29			Micractinium spp.	60
30			Monoraphidium spp.	20
31			Oocystis sp.	+
32			Scenedesmus acuminatus	20
33			Scenedesmus spp.	130
34			Tetraedron spp.	5
35	CHLOROPHYCEAE	310		
36	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.	+
37			EUROTATOREA	1
38	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+
39			POLYHYMENOPHORA	15
40			-	CILIOPHORA
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	50
43			鞭毛藻	25
44			鞭毛虫	75

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 4. 21	2022. 4. 21
総数		18976	49030
種類組成	藍藻	35	65
	クリプト藻	90	900
	渦鞭毛藻	5	30
	黄金色藻	10	0
	珪藻	18061	46579
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	620	1120
	その他の植物性動物	50	130
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022. 5. 10	2022. 5. 10	
採取時刻			10:33	9:58	
全水深 (m)			1.85	1.65	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(20)	
2			Aphanothece spp.	(15)	
3			Merismopedia spp.	(5)	(60)
4			Pseudanabaena spp.	(+)	(35)
5			CHROOCOCCALES	(15)	(150)
6			OSCILLATORIALES	(5)	(15)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	90	525
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	5
9	不等毛植物	黄金色藻	Synura sp.	+	
10			珪藻	Acanthoceras zachariasii	5
11		Asterionella formosa		12	+
12		Aulacoseira ambigua		20	105
13		Aulacoseira pusilla		15	80
14		Fragilaria spp.		+	5
15		Melosira varians		+	20
16		Nitzschia acicularis		25	575
17		Nitzschia fruticosa		+	335
18		Nitzschia spp.		15	210
19		Skeletonema potamos		22500	56750
20		Ulnaria japonica		25	220
21		Ulnaria sp.		+	
22		Thalassiosiraceae-5		800	4000
23		Thalassiosiraceae-10		1150	4500
24		Thalassiosiraceae-25			5
25		緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	5
26	Actinastrum spp.			+	60
27	Ankistrodesmus spp.			+	+
28	Chlorogonium spp.				80
29	Chodatella quadriseta			5	
30	Dichotomococcus sp.				20
31	Dictyosphaerium spp.			20	80
32	Gonium sp.			+	
33	Micractinium spp.			60	50
34	Monoraphidium spp.			20	180
35	Pandorina morum			+	
36	Pediastrum boryanum				16
37	Pediastrum duplex			+	+
38	Pediastrum simplex			+	
39	Scenedesmus acuminatus				+
40	Scenedesmus bicaudatus				20
41	Scenedesmus spp.			170	720
42	Schroederia spp.				10
43	Tetraedron spp.				10
44	CHLOROPHYCEAE			180	190
45	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+
46			Synchaeta sp.		+
47			Trichocercidae		5
48			EUROTATOREA		+
49	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		15
50			POLYHYMENOPHORA	30	45
51			CILIOPHORA	10	+
52	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	350	350
53			鞭毛藻	150	250
54			鞭毛虫	400	650

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 5. 10	2022. 5. 10
総数		26087	70381
種類組成	藍藻	25	295
	クリプト藻	90	525
	渦鞭毛藻	5	5
	黄金色藻	0	0
	珪藻	24567	66805
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	460	1436
	その他の植物性動物	500	600
検査条件		440	715
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022. 5. 24	2022. 5. 24	
採取時刻			10:36	10:09	
全水深 (m)			2.27	1.80	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece spp.	(10)	
2			Merismopedia spp.	(10)	
3			CHROCOCCALES	(20)	(100)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1200	1800
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		75
6	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	
7			Asterionella formosa		8
8			Aulacoseira ambigua	30	+
9			Aulacoseira pusilla	90	+
10			Aulacoseira granulata	50	
11			Fragilaria spp.	5	+
12			Melosira varians	+	14
13			Nitzschia acicularis	5	125
14			Nitzschia fruticosa	20	150
15			Nitzschia spp.	20	100
16			Skeletonema potamos	56850	57250
17			Staurosirella berolinensis		+
18			Ulnaria japonica	5	125
19			Thalassiosiraceae-5	1700	4500
20			Thalassiosiraceae-10	1000	800
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
22			Phacus sp.	+	
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
24			Ankistrodesmus sp.	+	
25			Chlorogonium spp.	10	50
26			Coelastrum sp.	40	
27			Dichotomococcus sp.	20	
28			Dictyosphaerium spp.	200	200
29			Golenkinia sp.		+
30			Micractinium spp.	60	100
31			Monoraphidium spp.	20	75
32			Pediastrum simplex	+	
33			Scenedesmus acuminatus	40	+
34			Scenedesmus spp.	90	200
35			Treubaria spp.	10	25
36				CHLOROPHYCEAE	850
37	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1	
38			Polyarthra spp.	+	1
39			Synchaeta sp.	+	
40			Trichocercidae	1	1
41	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
42		多膜口	Tintinnidium spp.		4
43			POLYHYMENOPHORA	4	25
44		-	CILIOPHORA	+	+
45	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	200	400
47			鞭毛藻	500	250
48			鞭毛虫	150	1050

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 5. 24	2022. 5. 24
総数		63216	67703
種類組成	藍藻	40	100
	クリプト藻	1200	1800
	渦鞭毛藻	0	75
	黄金色藻	0	0
	珪藻	59780	63072
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1340	925
	その他の植物性動物	700	650
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2022.6.7	2022.6.7		
採取時刻			10:25	10:00		
全水深(m)			2.30	1.79		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(+)	
2			Aphanothece sp.	(+)		
3			Merismopedia sp.		(25)	
4			Microcystis aeruginosa		+	
5			Pseudanabaena sp.		(25)	
6			Pseudanabaenaceae		(5)	
7			CHROOCOCCALES		(5)	(50)
8			OSCILLATORIALES		(10)	(25)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	800	2375	
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	+	
11	不等毛植物	ラフィド藻	黄金色藻	Synura sp.	+	
12			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	2	
13			珪藻	Acanthoceras zachariasi	+	
14			Aulacoseira pusilla	40	25	
15			Cymatopleura solea	1		
16			Melosira varians	10	2	
17			Nitzschia acicularis	50	125	
18			Nitzschia fruticosa	30	+	
19			Nitzschia spp.	25	75	
20			Skeletonema potamos	15850	11250	
21			Staurosirella berolinensis		+	
22			Surirella sp.	+		
23			Ulnaria japonica	5	+	
24			Thalassiosiraceae-5	950	2375	
25			Thalassiosiraceae-10	200	450	
26	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	10	50	
27			Chodatella wratislawiensis		25	
28			Chodatella sp.		+	
29			Crucigeniella crucifera	+	+	
30			Dictyosphaerium spp.	20	+	
31			Eudorina sp.	+		
32			Micractinium spp.	20	+	
33			Monoraphidium spp.	40	75	
34			Pediastrum simplex	+	1	
35			Scenedesmus acuminatus		+	
36			Scenedesmus bicaudatus	10		
37			Scenedesmus denticulatus	20		
38			Scenedesmus spp.	240	300	
39			Treubaria sp.	5		
40			CHLOROPHYCEAE	60	500	
41	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+	+	
42			Polyarthra sp.		+	
43			Trichocercidae	1	2	
44			EUROTATOREA	1		
45	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+		
46			多膜口	Tintinnidium spp.	3	
47		POLYHYMENOPHORA	20	+		
48		-	CILIOPHORA	15	+	
49	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100	100	
50			鞭毛藻	100	250	
51			鞭毛虫	100	200	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.6.7	2022.6.7
総数		18763	18305
種類組成	藍藻	20	125
	クリプト藻	800	2375
	渦鞭毛藻	15	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	17161	14302
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	425	951
	その他の植物性動物性	202	350
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2022. 6. 21	2022. 6. 21		
採取時刻			10:26	11:47		
全水深 (m)			2.25	1.82		
採取水深 (m)			0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(+)	
2			Aphanothece spp.	(5)	(75)	
3			Merismopedia spp.	(20)	(375)	
4			Microcystis aeruginosa	+		
5			Pseudanabaena sp.		(25)	
6			Romeria spp.	(10)	(50)	
7			CHROCOCCALES	(5)	(100)	
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5150	6000	
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	80	100	
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10		
11	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	+	
12			珪藻	Asterionella formosa	+	
13				Aulacoseira pusilla	65	+
14				Aulacoseira granulata		+
15				Fragilaria spp.	+	+
16				Nitzschia acicularis	30	350
17				Nitzschia fruticosa	90	400
18				Nitzschia spp.	20	275
19				Skeletonema potamos	35400	22500
20				Staurosirella berolinensis		+
21				Ulnaria japonica		25
22				Thalassiosiraceae-5	3000	6500
23				Thalassiosiraceae-10	1000	2125
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena sp.	+	
25	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.		+	
26			Chlorogonium spp.	35	175	
27			Coelastrum sp.	40		
28			Crucigenia lauterbornii	40		
29			Crucigeniella crucifera	80	+	
30			Dictyosphaerium spp.	80	100	
31			Micractinium spp.	60		
32			Monoraphidium spp.	15	75	
33			Oocystis sp.		+	
34			Pandorina morum	24		
35			Pediastrum boryanum	+		
36			Pediastrum duplex	32	32	
37			Pediastrum simplex	+		
38			Pediastrum tetras	+		
39			Pediastrum sp.	+		
40			Polyedriopsis spinulosa	5		
41			Scenedesmus acuminatus		+	
42			Scenedesmus bicaudatus		100	
43			Scenedesmus spp.	120	150	
44			Schroederia spp.	10	25	
45			Tetraedron spp.	5	25	
46			Tetrastrum elegans		100	
47		CHLOROPHYCEAE	250	275		
48	輪形動物	輪虫	Trichocercidae	2	+	
49			EUROTATOREA	2	1	
50	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
51			多膜口	Tintinnidium sp.	+	
52		-	POLYHYMENOPHORA	15	50	
53			CILIOPHORA	40	50	
54	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+	
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	550	700	
56			鞭毛藻	750	700	
57			鞭毛虫	150	250	

採 取 地 点		根 戸 下	手賀沼中央
採 取 年 月 日		2022. 6. 21	2022. 6. 21
総 数		47196	41708
種 類 組 成	藍 藻	45	625
	ク リ プ ト 藻	5150	6000
	渦 鞭 毛 藻	80	100
	黄 金 色 藻	10	0
	珪 藻	39605	32175
	ユ ー グ レ ナ 藻	0	0
	緑 藻	796	1057
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	1301	1400
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備 考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.7.12	2022.7.12	
採取時刻			10:10	9:40	
全水深(m)			2.30	1.80	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(125)
2			Merismopedia spp.	(200)	(75)
3			Pseudanabaena spp.	(25)	(+)
4			Romeria sp.	(25)	
5			CHROOCOCCALES	(50)	(+)
6			OSCILLATORIALES	(25)	(25)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1875	750
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25	+
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
10		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+	+
11		珪藻	Acanthoceras zachariasi	+	
12			Aulacoseira pusilla	100	+
13			Aulacoseira granulata	100	200
14			Nitzschia acicularis	225	1050
15			Nitzschia fruticosa	200	400
16			Nitzschia spp.	375	275
17			Skeletonema potamos	4850	825
18			Ulnaria japonica		25
19			Thalassiosiraceae-5	31750	24500
20			Thalassiosiraceae-10	15250	12000
21			Thalassiosiraceae-25	+	+
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	25	
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
24			Chlorogonium spp.	250	175
25			Chodatella wratislawiensis	25	
26			Coelastrum sp.	+	
27			Crucigenia lauterbornii	+	200
28			Crucigeniella crucifera	200	
29			Dictyosphaerium spp.	+	1300
30			Elakatothrix spp.	+	50
31			Eudorina sp.	32	
32			Golenkinia spp.	+	+
33			Gonium sp.	+	
34			Micractinium spp.	+	100
35			Monoraphidium spp.	75	50
36			Pediastrum duplex	+	+
37			Pediastrum simplex	8	16
38			Pediastrum tetras	+	+
39			Scenedesmus acuminatus	+	200
40			Scenedesmus bicaudatus		+
41			Scenedesmus denticulatus	100	100
42			Scenedesmus spp.	700	350
43			Schroederia spp.	50	75
44			Tetraedron sp.	+	
45			Treubaria sp.	+	
46				CHLOROPHYCEAE	125
47	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+	1
48			Polyarthra spp.	1	9
49			Trichocercidae	2	+
50	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	
51		多膜口	Tintinnidium spp.	+	+
52			POLYHYMENOPHORA	+	+
53		-	CILIOPHORA	25	50
54	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	400	400
56			鞭毛藻	600	150
57			鞭毛虫	300	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 7. 12	2022. 7. 12
総数		58018	44026
種類組成	藍藻	350	225
	クリプト藻	1875	750
	渦鞭毛藻	25	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	52850	39275
	ユーグレナ藻	25	0
	緑藻	1565	2916
	その他の植物性動物	1000	550
検査条件		328	310
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2022.7.22	2022.7.22		
採取時刻			10:05	9:37		
全水深(m)			2.25	1.76		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(150)	
2			Aphanothece spp.	(25)	(+)	
3			Cyanodictyon spp.	(275)	(50)	
4			Merismopedia spp.	(25)	(100)	
5			Microcystis aeruginosa	+	125	
6			Pseudanabaena spp.	(25)	(25)	
7			Romeria spp.	(25)	(75)	
8			Nostocaceae		(+)	
9			CHROOCOCCALES		(50)	(50)
10			OSCILLATORIALES		(150)	(75)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	800	1050	
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	75	50	
13	不等毛植物	黄緑藻	XANTHOPHYCEAE	+		
14			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		1
15			珪藻	Aulacoseira ambigua		+
16				Aulacoseira pusilla	275	75
17				Aulacoseira granulata	+	
18				Fragilaria sp.	+	
19				Nitzschia acicularis	400	2200
20				Nitzschia fruticosa	100	300
21				Nitzschia spp.	250	1050
22				Skeletonema potamos	8400	1150
23				Surirella sp.	+	
24				Ulnaria japonica	25	+
25				Ulnaria spp.	+	+
26				Thalassiosiraceae-5	27500	29750
27	Thalassiosiraceae-10	9750		7250		
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		75	
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	200	
30			Chlorogonium spp.	175	175	
31			Closterium sp.	+		
32			Coelastrum spp.	+	200	
33			Crucigeniella crucifera	400	300	
34			Dichotomococcus spp.	+	150	
35			Dictyosphaerium spp.	700	700	
36			Elakatothrix sp.	50		
37			Micractinium sp.	+		
38			Monoraphidium spp.	50	125	
39			Pediastrum duplex	16	+	
40			Pediastrum simplex	16	96	
41			Pediastrum tetras	+		
42			Scenedesmus acuminatus		+	
43			Scenedesmus bicaudatus	+	100	
44			Scenedesmus denticulatus	+	+	
45			Scenedesmus spp.	250	2300	
46			Treubaria sp.		25	
47	CHLOROPHYCEAE	400	300			
48	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	1	
49			Filinia sp.		1	
50			Polyarthra spp.		3	
51			Trichocercidae	1	2	
52			EUROTATOREA		3	
53	繊毛虫	キネトフラクミノフォーラ	Coleps sp.	+		
54		多膜口	Tintinnidium sp.		+	
55			POLYHYMENOPHORA	+	100	
56			CILIOPHORA	50	25	
57	不明プランクトン	微小鞭毛藻(5μm以下)	450	400		
58		鞭毛藻	150	150		
59		鞭毛虫	300	300		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.7.22	2022.7.22
総数		51209	49257
種類組成	藍藻	625	650
	クリプト藻	800	1050
	渦鞭毛藻	75	50
	黄金色藻	0	0
	珪藻	46700	41775
	ユーグレナ藻	0	75
	緑藻	2057	4671
	その他の植物性動物	600	551
検査条件		352	435
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.8.5	2022.8.5	
採取時刻			10:02	9:37	
全水深(m)			2.33	1.90	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(10)
2			Coelosphaerium sp.		(5)
3			Cyanodictyon spp.	(115)	(15)
4			Merismopedia spp.	(20)	(50)
5			Microcystis aeruginosa		40
6			Pseudanabaena spp.	(+)	(35)
7			Nostocaceae		(5)
8			Pseudanabaenaceae	(+)	
9			CHROOCOCCALES	(20)	(5)
10			OSCILLATORIALES	(65)	(80)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	280	1000
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	10
13	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	55	40
14			Aulacoseira pusilla	+	15
15			Aulacoseira granulata	30	10
16			Fragilaria sp.		25
17			Navicula sp.	+	
18			Nitzschia acicularis	230	340
19			Nitzschia fruticosa	120	30
20			Nitzschia spp.	340	410
21			Skeletonema potamos	850	135
22			Surirella spp.	+	+
23			Ulnaria japonica	5	
24			Thalassiosiraceae-5	3050	3250
25			Thalassiosiraceae-10	1250	850
26			BACILLARIOPHYCEAE	+	+
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
28			Phacus sp.	5	
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	140	40
30			Ankistrodesmus sp.		+
31			Chlorogonium spp.	90	85
32			Crucigeniella crucifera		20
33			Dichotomococcus spp.	+	70
34			Dictyosphaerium spp.	100	280
35			Elakatothrix spp.		20
36			Golenkinia sp.		5
37			Micractinium spp.	20	40
38			Monoraphidium spp.	25	35
39			Oocystis sp.		+
40			Pediastrum duplex	+	+
41			Pediastrum simplex	+	+
42			Pediastrum tetras		8
43			Scenedesmus acuminatus	+	40
44			Scenedesmus bicaudatus	20	10
45			Scenedesmus denticulatus	20	+
46			Scenedesmus spp.	560	180
47			Schroederia spp.	25	15
48			Staurastrum sp.		+
49			Tetrastrum elegans		+
50			Treubaria spp.		15
51				CHLOROPHYCEAE	160
52	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	+	
53			Brachionus spp.	+	+
54			Filinia sp.	+	
55			Schizocerca diversicornis	+	1
56		Trichocercidae	2	+	
57	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	+
58		多膜口	Tintinnidium sp.		+
59			POLYHYMENOPHORA	5	45
60		-	CILIOPHORA	30	110
61	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	+
62	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	650	500
63			鞭毛藻	100	50
64			鞭毛虫	50	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.8.5	2022.8.5
総数		8457	8249
種類組成	藍藻	225	245
	クリプト藻	280	1000
	渦鞭毛藻	15	10
	黄金色藻	0	0
	珪藻	5930	5105
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	1160	1033
	その他の植物性動物性	750	550
検査条件		92	306
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022. 8. 23	2022. 8. 23	
採取時刻			10:00	9:31	
全水深 (m)			2.25	1.80	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(75)	(250)
2			Cyanodictyon spp.	(200)	(175)
3			Merismopedia spp.	(150)	(125)
4			Microcystis aeruginosa	+	50
5			Pseudanabaena sp.		(25)
6			CHROCOCCALES	(25)	(25)
7			OSCILLATORIALES	(75)	(325)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2250	4000
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
10			Peridinium spp.	200	225
11	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE		+
12			Aulacoseira pusilla	50	100
13			Aulacoseira granulata		50
14			Fragilaria sp.		25
15			Navicula sp.		+
16			Nitzschia acicularis	125	375
17			Nitzschia fruticosa		+
18			Nitzschia spp.	+	625
19			Skeletonema potamos	12500	6150
20			Surirella sp.		1
21			Ulnaria sp.		+
22			Thalassiosiraceae-5	21750	59000
23			Thalassiosiraceae-10	5250	10750
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		175
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
26			Chlorogonium spp.	75	100
27			Coelastrum sp.		+
28			Crucigenia tetrapedia	+	
29			Crucigeniella crucifera	+	100
30			Dichotomococcus spp.	125	250
31			Dictyosphaerium spp.	300	100
32			Eudorina sp.		16
33			Gonium sp.		+
34			Monoraphidium spp.	25	25
35			Pediastrum duplex	+	+
36			Pediastrum simplex		+
37			Pediastrum tetras	+	+
38			Scenedesmus acuminatus		100
39			Scenedesmus denticulatus		100
40			Scenedesmus spp.	200	450
41			Schroederia spp.	25	25
42			Tetraedron spp.	+	25
43			CHLOROPHYCEAE	275	550
44	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
45			Polyarthra spp.	1	1
46			Schizocerca diversicornis	1	
47			Synchaeta spp.	+	+
48			Trichocercidae	1	6
49		EUROTATOREA	5	1	
50	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	+
51		多膜口	Tintinnidium spp.		2
52		-	CILIOPHORA	75	75
53	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	25
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	400	700
55			鞭毛藻	450	400
56			鞭毛虫	200	150

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 8. 23	2022. 8. 23
総数		44808	85652
種類組成	藍藻	525	975
	クリプト藻	2250	4000
	渦鞭毛藻	200	225
	黄金色藻	0	0
	珪藻	39675	77076
	ユーグレナ藻	0	175
	緑藻	1025	1841
	その他の植物性動物性	850	1100
検査条件		283	260
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2022.9.6	2022.9.6			
採取時刻			10:00	9:31			
全水深 (m)			2.10	1.67			
採取水深 (m)			0.50	0.50			
採水量 (ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	(55)		
2			Aphanothece spp.	(15)			
3			Cyanodictyon spp.	(240)	(370)		
4			Merismopedia spp.	(35)	(50)		
5			Microcystis aeruginosa	+	+		
6			CHROCOCCALES	(45)	(20)		
7			OSCILLATORIALES	(35)	(110)		
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	675	1950		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	5			
10			Peridinium spp.		20		
11	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+			
12			珪藻	Aulacoseira ambigua	+		
13				Aulacoseira pusilla	20	140	
14				Aulacoseira granulata		80	
15				Melosira varians	+		
16				Navicula sp.		+	
17				Nitzschia acicularis	65	180	
18				Nitzschia fruticosa	20	+	
19				Nitzschia spp.	115	400	
20				Skeletonema potamos	11500	10150	
21				Ulnaria sp.	5		
22				Thalassiosiraceae-5	11950	15000	
23				Thalassiosiraceae-10	3250	4750	
24				Thalassiosiraceae-25		5	
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena spp.	25	60	
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	120		
27			Ankistrodesmus sp.	10			
28			Chlorogonium spp.	210	350		
29			Coelastrum spp.	+	160		
30			Cosmarium sp.		+		
31			Crucigenia tetrapedia	20			
32			Crucigeniella crucifera	+	180		
33			Dichotomococcus spp.	10	50		
34			Dictyosphaerium spp.	120	700		
35			Elakatothrix sp.	10			
36			Golenkinia spp.	35	55		
37			Micractinium spp.	60	80		
38			Monoraphidium spp.	65	80		
39			Oocystis sp.	10			
40			Pediastrum duplex	80			
41			Pediastrum simplex	+	32		
42			Pediastrum tetras		16		
43			Scenedesmus acuminatus	20	40		
44			Scenedesmus bicaudatus		20		
45			Scenedesmus denticulatus		+		
46			Scenedesmus spp.	100	290		
47			Schroederia spp.	15	15		
48			Tetraedron sp.		+		
49			Tetrastrum elegans		20		
50			Tetrastrum heterocanthum		20		
51				CHLOROPHYCEAE	525	450	
52			輪形動物	輪虫	Filinia sp.		+
53					Polyarthra spp.	1	1
54					Synchaeta sp.		+
55					Trichocercidae		1
56				EUROTATOREA	+	1	
57	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		1		
58			多膜口	Tintinnidium sp.		+	
59				POLYHYMENOPHORA	+	5	
60				-	CILIOPHORA	20	35
61	肉質鞭毛虫	葉状根足虫		LOBOSEA	+	+	
62			真正太陽虫	HELIOZOA		5	
63	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	350	500		
64			鞭毛藻	350	600		
65			鞭毛虫	350	350		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.9.6	2022.9.6
総数		30411	37517
種類組成	藍藻	420	605
	クリプト藻	675	1950
	渦鞭毛藻	5	20
	黄金色藻	0	0
	珪藻	26925	30705
	ユーグレナ藻	25	60
	緑藻	1290	2678
	その他の植物性動物	700	1100
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.9.29	2022.9.29	
採取時刻			13:53	13:28	
全水深(m)			1.90	1.40	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)	
2			Aphanothece sp.	(+)	
3			Cyanodictyon spp.	(125)	(850)
4			Merismopedia spp.	(75)	(200)
5			Microcystis aeruginosa	+	+
6			Snowella sp.		(+)
7			CHROOCOCCALES		(25)
8			OSCILLATORIALES		(50)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5250	3375
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
11			Peridinium spp.	+	125
12	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	1
13			Aulacoseira pusilla		+
14			Navicula sp.		+
15			Nitzschia acicularis	50	250
16			Nitzschia fruticosa	+	250
17			Nitzschia spp.	200	525
18			Skeletonema potamos	25250	8400
19			Ulnaria japonica		+
20			Ulnaria sp.		+
21			Thalassiosiraceae-5	7250	6000
22			Thalassiosiraceae-10	3375	950
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	25	100
24			Phacus sp.		25
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	100	
26			Ankistrodesmus sp.		+
27			Chlorogonium spp.	125	375
28			Coelastrum sp.		+
29			Crucigenia tetrapedia	+	
30			Crucigeniella crucifera		+
31			Dictyosphaerium spp.	200	200
32			Golenkinia spp.	50	25
33			Lobomonas sp.		+
34			Micractinium spp.	100	+
35			Monoraphidium spp.	100	275
36			Pediastrum duplex		48
37			Pediastrum simplex	80	36
38			Pediastrum tetras	+	+
39			Scenedesmus acuminatus	100	+
40			Scenedesmus spp.	100	550
41			Schroederia spp.	75	50
42				CHLOROPHYCEAE	1350
43	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1
44			Trichocercidae	1	+
45			EUROTATOREA		1
46	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1	
47			Tintinnidium spp.	3	
48		多膜口	POLYHYMENOPHORA	50	50
49		-	CILIOPHORA	25	125
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	1000	1000
51			鞭毛藻	950	500
52			鞭毛虫	100	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.9.29	2022.9.29
総数		46111	26412
種類組成	藍藻	200	1150
	クリプト藻	5250	3375
	渦鞭毛藻	0	125
	黄金色藻	0	0
	珪藻	36125	16375
	ユーグレナ藻	25	125
	緑藻	2380	3434
	その他の植物性動物	1951	1501
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.10.12	2022.10.12	
採取時刻			13:44	13:20	
全水深(m)			1.88	1.43	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Cyanodictyon spp.	(5)	(15)
2			Merismopedia spp.	(10)	(15)
3			CHROOCOCCALES		(5)
4			OSCILLATORIALES		(15)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	190	1150
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	20
7	不等毛植物	黄金色藻 ラフィド藻 珪藻	Mallomonas sp.		5
8			RAPHIDOPHYCEAE	+	
9			Aulacoseira ambigua	40	
10			Aulacoseira granulata	+	
11			Navicula spp.	+	5
12			Nitzschia acicularis	30	125
13			Nitzschia fruticosa		+
14			Nitzschia spp.	40	200
15			Pinnularia sp.		5
16			Skeletonema potamos	2675	11350
17			Surirella sp.		1
18			Ulnaria japonica	+	
19			Ulnaria spp.	5	5
20			Urosolenia sp.		5
21			Thalassiosiraceae-5	4950	16250
22	Thalassiosiraceae-10	1550	3750		
23	BACILLARIOPHYCEAE	+			
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.		20
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	80
26			Chlorogonium spp.	15	260
27			Chodatella sp.		+
28			Dictyosphaerium spp.	+	+
29			Golenkinia spp.	40	55
30			Micractinium spp.		50
31			Monoraphidium spp.	10	30
32			Oocystis spp.		40
33			Pediastrum duplex		+
34			Pediastrum simplex	48	+
35			Scenedesmus spp.	70	70
36			Schroederia spp.	10	5
37			Tetraedron spp.		10
38	CHLOROPHYCEAE	45	425		
39	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	1
40			Trichocercidae	1	
41			EUROTATOREA	1	
42	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10	5
43			-	CILIOPHORA	+
44	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	5
45	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	350
46			鞭毛藻	+	150
47			鞭毛虫	125	650

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 10. 12	2022. 10. 12
総数		9940	35137
種類組成	藍藻	30	35
	クリプト藻	190	1150
	渦鞭毛藻	5	20
	黄金色藻	0	5
	珪藻	9290	31696
	ユーグレナ藻	0	20
	緑藻	238	1025
	その他の植物性動物性	50	500
検査条件		137	686
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2022.10.18	2022.10.18		
採取時刻			10:19	9:47		
全水深(m)			1.88	1.45		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(5)		
2			Merismopedia spp.	(+)		
3			CHROOCOCCALES	(10)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	190		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+		
6	不等毛植物	黄金色藻	Synura sp.	+		
7		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1		
8		珪藻	Aulacoseira ambigua		+	
9			Aulacoseira pusilla		+	
10			Bacillaria paxillifer		+	
11			Melosira varians	20		
12			Navicula sp.		+	
13			Nitzschia acicularis	25	50	
14			Nitzschia fruticosa		+	
15			Nitzschia spp.	70	75	
16			Pinnularia sp.		+	
17			Skeletonema potamos	4125	18750	
18			Surirella sp.		1	
19			Ulnaria sp.		+	
20			Thalassiosiraceae-5	950	3250	
21			Thalassiosiraceae-10	400	2500	
22			Thalassiosiraceae-25		+	
23		ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5	
24		緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	
25				Chlorogonium spp.	10	
26				Chodatella sp.		+
27				Coelastrum spp.	+	+
28	Dictyosphaerium spp.			+	100	
29	Elakatothrix sp.				+	
30	Golenkinia spp.			75	75	
31	Micractinium spp.			30	150	
32	Monoraphidium spp.			+	50	
33	Pandorina morum				8	
34	Pediastrum duplex				+	
35	Pediastrum simplex			48	+	
36	Pediastrum tetras			+		
37	Scenedesmus acuminatus				+	
38	Scenedesmus bicaudatus				+	
39	Scenedesmus spp.			30	50	
40	Schroederia sp.				+	
41				CHLOROPHYCEAE	75	350
42	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.			
43			Schizocerca diversicornis		1	
44			Synchaeta sp.		+	
45			Trichocercidae		2	
46			EUROTATOREA		1	
47	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+		
48		-	CILIOPHORA	+		
49	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5		
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150		
51			鞭毛藻	50		
52			鞭毛虫	50		

採取地	根戸下	手賀沼中央	
採取年月日	2022. 10. 18	2022. 10. 18	
総数	6324	29038	
種類組成	藍藻	15	100
	クリプト藻	190	2000
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	5590	24626
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	268	1283
	その他の植物性動物	201	900
	55	129	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 		

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022. 11. 4	2022. 11. 4
採取時刻			10:22	9:50
全水深 (m)			1.96	1.47
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(5)
2			Merismopedia spp.	(10)
3			CHROOCOCCALES	(5)
4			OSCILLATORIALES	(+)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	450
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+
7	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	+
8			Navicula spp.	+
9			Nitzschia acicularis	+
10			Nitzschia fruticosa	+
11			Nitzschia spp.	20
12			Skeletonema potamos	123800
13			Staurosirella berolinensis	+
14			Ulnaria japonica	5
15			Thalassiosiraceae-5	4700
16			Thalassiosiraceae-10	2450
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	20
19			Chlorogonium spp.	10
20			Dictyosphaerium sp.	+
21			Golenkinia spp.	60
22			Micractinium spp.	+
23			Monoraphidium sp.	5
24			Scenedesmus acuminatus	+
25			Scenedesmus spp.	30
26			CHLOROPHYCEAE	45
27	輪形動物	輪虫	Trichocercidae	+
28	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+
29			CILIOPHORA	5
30	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	175
32			鞭毛藻	100
33			鞭毛虫	125
総数			131995	169470
種類組成				
藍藻			0	20
クリプト藻			450	150
渦鞭毛藻			0	0
黄色藻			0	0
珪藻			130975	168600
ユーグレナ藻			0	0
緑藻			165	100
その他の植物性			275	350
動物性			130	250
検査条件				
固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件			定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名			（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022. 11. 22	2022. 11. 22
採取時刻			10:24	9:51
全水深 (m)			1.95	1.61
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(50)
2			CHROCOCCALES	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	230
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5
5	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	20
6			Melosira varians	+
7			Navicula sp.	+
8			Nitzschia acicularis	35
9			Nitzschia fruticosa	20
10			Nitzschia spp.	15
11			Skeletonema potamos	34550
12			Staurosirella berolinensis	
13			Ulnaria japonica	5
14			Thalassiosiraceae-5	550
15			Thalassiosiraceae-10	575
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
17	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	5
18			Chodatella quadriseta	+
19			Chodatella wratislawiensis	+
20			Dictyosphaerium sp.	+
21			Golenkinia spp.	10
22			Micractinium sp.	+
23			Monoraphidium spp.	25
24			Scenedesmus acuminatus	+
25			Scenedesmus spp.	40
26			CHLOROPHYCEAE	75
27	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	1
28			POLYHYMENOPHORA	+
29			CILIOPHORA	45
30	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	125
32			鞭毛藻	100
33			鞭毛虫	25
総数			36455	106401
種類組成				
藍藻			0	75
クリプト藻			230	300
渦鞭毛藻			5	0
黄金色藻			0	0
珪藻			35770	105150
ユーグレナ藻			0	0
緑藻			155	225
その他の植物性			225	325
動物性			70	326
検査条件				
固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件			定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名			（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022.12.2	2022.12.2
採取時刻			11:05	10:35
全水深(m)			1.85	1.45
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(10)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	40
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+
4	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	55
5			Bacillaria paxillifer	10
6			Melosira varians	+
7			Navicula spp.	10
8			Nitzschia acicularis	10
9			Nitzschia fruticosa	
10			Nitzschia spp.	15
11			Skeletonema potamos	16100
12			Surirella sp.	+
13			Ulnaria japonica	
14			Thalassiosiraceae-5	1000
15	Thalassiosiraceae-10	600		
16	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.	+
17			Golenkinia spp.	10
18			Monoraphidium spp.	15
19			Pediastrum duplex	
20			Scenedesmus spp.	+
21			Tetraedron sp.	5
22			CHLOROPHYCEAE	60
23			織毛虫	貧膜口
24		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+
25		-	CILIOPHORA	10
26	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75
27			鞭毛藻	75
28			鞭毛虫	75
総数			18165	55823
種類組成			藍藻	0
			クリプト藻	40
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	17800
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	90
			その他の植物性動物性	150
				85
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022.12.16	2022.12.16
採取時刻			10:31	11:33
全水深(m)			1.96	1.46
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(5)
2			OSCILLATORIALES	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	90 140
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15
5	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	+ 15
6			Nitzschia acicularis	10 5
7			Nitzschia fruticosa	+ 15
8			Nitzschia spp.	5 25
9			Skeletonema potamos	21700 30250
10			Staurosirella berolinensis	+ 15
11			Ulnaria japonica	50 40
12			Thalassiosiraceae-5	1050 1350
13			Thalassiosiraceae-10	675 900
14			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻
15	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.	20
16			Chlorogonium spp.	5 15
17			Dictyosphaerium sp.	40
18			Micractinium spp.	30 15
19			Monoraphidium spp.	25
20			Scenedesmus acuminatus	20
21			Scenedesmus spp.	+ 10
22			Tetrastrum elegans	20
23			CHLOROPHYCEAE	45 80
24			輪形動物	輪虫
25	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	15
26			POLYHYMENOPHORA	20
27			-	CILIOPHORA
28	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50 50
29			鞭毛藻	125 125
30			鞭毛虫	25 25
総数			23885	33160
種類組成				
			藍藻	0 5
			クリプト藻	90 140
			渦鞭毛藻	0 15
			黄金色藻	0 0
			珪藻	23490 32570
			ユーグレナ藻	5 0
			緑藻	100 195
			その他の植物性	175 175
			動物性	25 60
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)			
No.	門	綱	出現種名										
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.		(+)	(+)							
2			CHROCOCCALES		(5)	(25)							
3			OSCILLATORIALES		(5)								
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE		220	425							
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+								
6			Peridinium sp.		5								
7	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		8								
8			Mallomonas spp.		10	50							
9			Synura sp.			+							
10		珪藻	Asterionella formosa			+							
11			Aulacoseira pusilla		10	+							
12			Fragilaria spp.		40	75							
13			Nitzschia acicularis		55	+							
14			Nitzschia fruticosa			+							
15			Nitzschia spp.		+	+							
16			Skeletonema potamos		850	1350							
17			Staurosirella berolinensis			+							
18			Ulnaria japonica		260	575							
19			Thalassiosiraceae-5		500	2375							
20			Thalassiosiraceae-10		8600	33500							
21			緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.		10	+					
22					Chodatella quadriseta		+						
23					Dictyosphaerium spp.		+	400					
24	Golenkinia spp.					50							
25	Scenedesmus sp.					+							
26	Tetraedron sp.				+								
27	Tetrastrum staurogeniaeforme				40	+							
28	CHLOROPHYCEAE				140	375							
29	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.			+							
30			Collothecidae			+							
31	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		5	+							
32			-			25							
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		225	75							
34			鞭毛藻		50	150							
35			鞭毛虫		125	125							
総数					11163	39575							
種類組成		藍藻		10	25								
		クリプト藻		220	425								
		渦鞭毛藻		5	0								
		黄金色藻		18	50								
		珪藻		10315	37875								
		ユーグレナ藻		0	0								
		緑藻		190	825								
		その他の植物性		275	225								
		動物性		130	150								
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理									
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。									
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。									
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人									
備考													
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 													

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2023.1.26	2023.1.26		
採取時刻			13:55	13:30		
全水深 (m)			1.80	1.40		
採取水深 (m)			0.50	0.50		
採水量 (ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.	(25)		
2			CHROOCOCCALES	(5)		
3			OSCILLATORIALES	(5)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	90		
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10		
6			珪藻	Asterionella formosa	8	
7			Aulacoseira ambigua	155		
8			Aulacoseira pusilla	40		
9			Fragilaria spp.	55		
10			Melosira varians	+		
11			Nitzschia acicularis	125		
12			Nitzschia spp.	10		
13			Skeletonema potamos	1650		
14			Staurosirella berolinensis	+		
15			Ulnaria japonica	270		
16			Ulnaria sp.	+		
17			Thalassiosiraceae-5	200		
18			Thalassiosiraceae-10	12050		
19			緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	10
20					Chodatella quadriseta	50
21					Dictyosphaerium spp.	20
22					Micractinium spp.	40
23	Monoraphidium spp.	25				
24	Pandorina morum	+				
25	Scenedesmus spp.	30				
26	CHLOROPHYCEAE	115				
27	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.	1		
28			Collothecidae	+		
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+		
30			POLYHYMENOPHORA	5		
31	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	225		
32			鞭毛藻	125		
33			鞭毛虫	200		
総数			15468	37026		
種類組成						
藍藻			10	50		
クリプト藻			90	25		
渦鞭毛藻			0	0		
黄金色藻			10	25		
珪藻			14563	35625		
ユーグレナ藻			0	0		
緑藻			240	850		
その他の植物性			350	300		
動物性			205	151		
検査条件						
固定条件			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
分離条件			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
検鏡条件			定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
検鏡者所属氏名			（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコムは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2023.2.3	2023.2.3			
採取時刻			10:10	9:45			
全水深(m)			1.90	1.35			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(+)	(+)		
2			CHROCOCCALES	(5)			
3			OSCILLATORIALES	(5)			
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	100		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	+		
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	25		
7			珪藻	Amphora sp.	+		
8			Asterionella formosa	8	12		
9			Aulacoseira ambigua	260	350		
10			Aulacoseira pusilla	160	300		
11			Fragilaria spp.	50	125		
12			Gyrosigma sp.	+			
13			Melosira varians	+			
14			Navicula sp.	+			
15			Nitzschia acicularis	150	325		
16			Nitzschia fruticosa	+			
17			Nitzschia spp.	15	25		
18			Skeletonema potamos	75	850		
19			Staurosirella berolinensis		50		
20	Ulnaria japonica	170	250				
21	Thalassiosiraceae-5	450	1375				
22	Thalassiosiraceae-10	23300	51000				
23	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	10	25		
24			Dictyosphaerium spp.	100	400		
25			Micractinium spp.	20	+		
26			Monoraphidium spp.	10	25		
27			Scenedesmus acuminatus	+	+		
28			Scenedesmus spp.	60			
29			Treubaria sp.	5			
30			CHLOROPHYCEAE	150	175		
31			輪形動物	輪虫	Collothecidae		+
32			絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
33	POLYHYMENOPHORA	15			+		
34	-	CILIOPHORA				25	
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	150		
36			鞭毛藻	25	175		
37			鞭毛虫	75	200		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023.2.3	2023.2.3
総数		25298	55963
種類組成	藍藻	10	0
	クリプト藻	25	100
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	25
	珪藻	24638	54662
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	355	625
	その他の植物性動物	175	325
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2023. 2. 16	2023. 2. 16	
採取時刻			14:00	13:34	
全水深 (m)			1.85	1.55	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	網	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(5)	(20)
2			CHROCOCCALES	(10)	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	40	20
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	+
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	5	
6		珪藻	Asterionella formosa	+	12
7			Aulacoseira ambigua	140	140
8			Aulacoseira pusilla	50	40
9			Fragilaria spp.	5	40
10			Melosira varians	+	12
11			Nitzschia acicularis	130	240
12			Nitzschia fruticosa		20
13			Nitzschia spp.	10	
14			Skeletonema potamos	90	580
15			Staurosirella berolinensis	+	150
16			Ulnaria japonica	50	180
17			Ulnaria spp.	+	+
18			Thalassiosiraceae-5	500	1250
19			Thalassiosiraceae-10	16000	52500
20			Thalassiosiraceae-25	+	+
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	15	+
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
23			Chlorogonium spp.	25	20
24			Chodatella quadriseta	5	+
25			Dictyosphaerium sp.		40
26			Micractinium spp.	10	10
27			Monoraphidium spp.	25	25
28			Pandorina morum	+	
29			Scenedesmus acuminatus	+	20
30			Scenedesmus sp.		+
31			Tetrastrum elegans		+
32			CHLOROPHYCEAE	80	10
33	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		+
34	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	6
35			POLYHYMENOPHORA	10	10
36		-	CILIOPHORA	+	5
37	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	100
38			鞭毛藻	50	25
39			鞭毛虫	100	175
総数				17431	55650
種類組成					
			藍藻	15	20
			クリプト藻	40	20
			渦鞭毛藻	0	0
			黄金色藻	5	0
			珪藻	16975	55164
			ユーグレナ藻	15	0
			緑藻	145	125
			その他の植物性	125	125
			動物性	111	196
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 					

- ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。
- ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。
- ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2023.3.2	2023.3.2			
採取時刻			10:04	9:35			
全水深(m)			1.95	1.46			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(+)		
2			Pseudanabaena spp.	(10)	(+)		
3			OSCILLATORIALES	(10)	(5)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	35		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		+		
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+			
7			珪藻	Amphora spp.	+	+	
8			Asterionella formosa	12	+		
9			Aulacoseira ambigua	50	45		
10			Aulacoseira pusilla		90		
11			Cymatopleura solea	1	+		
12			Fragilaria spp.	25	50		
13			Melosira varians	2			
14			Nitzschia acicularis	475	750		
15			Nitzschia fruticosa		+		
16			Nitzschia spp.	10	45		
17			Skeletonema potamos	280	220		
18			Staurosirella berolinensis	+	+		
19			Ulnaria japonica	240	500		
20			Ulnaria spp.	5	5		
21			Thalassiosiraceae-5	1750	2000		
22			Thalassiosiraceae-10	31750	72500		
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	5
24			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	60
25					Chlorogonium sp.		5
26					Closterium sp.	+	
27					Dictyosphaerium spp.	+	20
28	Micractinium spp.	10			30		
29	Monoraphidium spp.	5			10		
30	Pandorina morum	6			+		
31	Pediastrum duplex				+		
32	Scenedesmus acuminatus	+			+		
33	Scenedesmus spp.	+			+		
34	CHLOROPHYCEAE	30			40		
35	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+		
36			Collotheca sp.		+		
37			Synchaeta spp.	+	+		
38	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		2		
39			Tintinnidium spp.	1	11		
40		多膜口	POLYHYMENOPHORA	5	+		
41		—	CILIOPHORA	5	5		
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	50		
43			鞭毛藻	50	125		
44			鞭毛虫	100	200		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023.3.2	2023.3.2
総数		35042	76808
種類組成	藍藻	20	5
	クリプト藻	10	35
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	34600	76205
	ユーグレナ藻	0	5
	緑藻	51	165
	その他の植物性動物性	250	175
検査条件		111	218
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央				
採取年月日			2023.3.8	2023.3.8				
採取時刻			14:08	13:46				
全水深(m)			2.00	1.48				
採取水深(m)			0.50	0.50				
採水量(ml)			100	100				
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(5)	(25)			
2			CHROOCOCCALES	(5)				
3			OSCILLATORIALES	(5)	(5)			
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	35	70			
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	15			
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+				
7			Synura sp.		40			
8			珪藻	Asterionella formosa		+		
9				Aulacoseira ambigua	35	+		
10				Aulacoseira pusilla	+	40		
11				Cymatopleura solea		+		
12				Fragilaria spp.	30	70		
13				Melosira varians	+			
14				Navicula spp.	10	+		
15				Nitzschia acicularis	1650	1150		
16				Nitzschia fruticosa	+	40		
17				Nitzschia spp.	20	25		
18				Pinnularia sp.		+		
19				Skeletonema potamos	575	335		
20				Staurosirella berolinensis		40		
21				Ulnaria japonica	220	1350		
22				Thalassiosiraceae-5	1500	3250		
23				Thalassiosiraceae-10	21750	63000		
24				Thalassiosiraceae-25	+			
25				緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.		60
26						Chlorogonium spp.		45
27						Chodatella wratislawiensis	+	
28			Dichotomococcus sp.			+		
29			Dictyosphaerium spp.			40	60	
30	Eudorina sp.		32					
31	Golenkinia sp.	+						
32	Micractinium sp.	+						
33	Monoraphidium spp.	10	30					
34	Pandorina morum		+					
35	Pediastrum boryanum		+					
36	Scenedesmus acuminatus		40					
37	Scenedesmus spp.	30	40					
38	Treubaria sp.		5					
39	CHLOROPHYCEAE	35	25					
40	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1			
41	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+			
42			多膜口	Tintinnidium spp.	1	2		
43		-	POLYHYMENOPHORA	10	10			
44			CILIOPHORA	10	+			
45	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+			
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100	500			
47			鞭毛藻	25	150			
48			鞭毛虫	75	200			

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2023.3.8	2023.3.8
総数		26181	70655
種類組成	藍藻	15	30
	クリプト藻	35	70
	渦鞭毛藻	5	15
	黄金色藻	0	40
	珪藻	25790	69300
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	115	337
	その他の植物性動物性	125	650
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			